

令和5年度 事業計画書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

公益財団法人 成羽町美術振興財団

<定款に定める事業(第4条関係)>

- (1) 児島虎次郎画伯の遺作を始めとする絵画、美術品及び化石の収集・保存及び公開並びにこれらに関する調査研究
- (2) 美術等に関する催しの開催
- (3) 美術等に関する情報収集、広報啓発活動、地域住民の美術文化活動の支援
- (4) 高梁市成羽美術館の維持・管理・運営の受託
- (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

定款第4条第1項第1号、2号事業

1. 展覧会開催事業 芸術文化の振興を図るため、優れた美術品の鑑賞機会を提供する。

①鴨居 玲 —1983年2月3日、私

令和5年4月8日(土)～6月25日(日)

2階展示室・1階展示室

鴨居玲(1928-1985)はその57年の生涯の中で、常に自己の内面を凝視し、人間の心の闇と弱さを描いた。鴨居の心の叫びと苦悩を表現した作品には、現代の人々に通じる孤独や哀しみがあり、彼の日本人離れした風貌や無国籍風な生き方と併せて鴨居に憧れを抱く若者も多い。

本展では、鴨居の自画像や酔っ払い、老婆など、人間の内面に向き合いその苦悶を投影した油彩画をはじめ、卓越した技量を見せるデッサンやスケッチに加えて、思索の跡をたどる画帳や写真など身近な資料を含む約70点を紹介する。

②ベルギーと日本 一光をえがき、命をかたどる

令和5年7月8日(土)～8月27日(日)

2階展示室・1階展示室・オリエント展示室

戦前、絵画や彫刻を学ぶ多くの日本人留学生在がフランス・パリに押し寄せていた中、数は少ないが、留学先にベルギーを選んだ者たちがいた。画家の太田喜二郎(1883-1951)と児島虎次郎(1881-1929)、彫刻家の武石弘三郎(1877-1951)である。本展では、この3人を中心に関連作家を加え、当時の印刷物による紹介や展示などにも着目し、約100点の作品と資料類から戦前の日本におけるベルギー美術受容の様相を紹介する。

※本展覧会は一般財団法人地域創造の助成を取得し開催する事業で、目黒区美術館、新潟県立近代美術館を巡回する。

③世界の道しるべ —ヤバイ現代美術 タグチアートコレクション展

令和5年9月16日(土)～令和6年1月14日(日)

2階展示室・1階展示室・オリエント展示室・静水の庭前ロビー

タグチアートコレクションは、ミスミグループ創業者であり日本を代表する現代美術コレクター田口弘氏が、世界各地から収集した日本有数のアートコレクションである。本展では、アンディ・ウォーホル、キース・ヘリング、ロイ・リキテンスタインを筆頭とする巨匠たちに、オノ・ヨーコ、草間彌生、塩田千春、杉本博司、奈良美智、村上隆といった著名な日本人作家も交え、世界のアートシーンの“いま”を紹介する。現代美術の面白さを、次代を担う子供たちをはじめ、幅広い世代の方々に感じてもらう機会となるよう企画する。

特に会期中には近隣の成羽小学校、成羽中学校の生徒を対象に、現代美術作品の面白さを味わってもらうイベントを企画実施する。

④福島隆壽 一風土と群像一

令和6年2月3日（土）～3月17日（日）

2階展示室

90歳を超えてなお精力的な制作を続ける画家 福島隆壽（1931-）。本展では東京藝術大学入学前から現代までの軌跡を辿り、作品と貴重な制作スケッチなど併せて約40点を紹介する。

※協力：光風会岡山支部

また、この会期に合わせて1階展示室で、児島虎次郎をはじめ館所蔵の日展画家の絵画を特集展示する。

⑤所蔵品選 所蔵する作品資料を、それぞれテーマを定めて系統的に紹介する。

- ・児島虎次郎の画業紹介とテーマ展示など
- ・児島コレクション（エジプト遺物を中心に）
- ・成羽地域の動植物化石など

⑥次年度以降展覧会開催準備 予定企画の作家調査・関係機関との連絡・打合せ

- ・令和6年度「藝術の系譜―児島家三代展」「岩合光昭 日本のねこ展」
「没後95年・新築開館30周年記念 児島虎次郎と近代洋画の歩み展」
「迫田岳臣 ガラス展」（静水の庭前ロビー）開催のための調査・打合せ

※「児島虎次郎を偲ぶ絵画コンクール 30年の歩み」展

R6.4/13～6/30 多目的展示室にて261点の作品を展示する

2. 児島画伯の画業顕彰事業 児島虎次郎の画業への理解を深め、その顕彰を図る。

①児島虎次郎を偲ぶ絵画コンクール

児島賞・渡辺賞の表彰とその他入賞・入選作品の展示を行う。美術活動に興味を持つきっかけ作りを目的として、市内小中学生を対象に絵画展を高梁市教育委員会と共に開催する。

作品募集・審査 令和5年11月頃実施予定

展示 令和6年2月3日（土）～3月3日（日） 1階多目的展示室

授賞式 令和6年2月実施予定

②児島虎次郎記念室の開設準備

没後95年・新築開館30周年を記念して児島虎次郎記念室の新設を検討準備する。

- ・場所は元のミュージアムショップ跡 1階北出口横（約35坪）
- ・時期は令和6年11月オープンを予定

3. 調査研究 収蔵品の整理・保管・作品保存、美術資料研究や関連情報の収集提供

①児島作品、オリエント関係資料、化石資料の調査研究、修復保存など関連情報の収集活動

- ・児島コレクションの内、中国の俑をはじめオリエント陶器類の調査と展示の準備
- ・県内所蔵家の児島作品をくまなく調査し令和6年秋予定の「児島虎次郎と近代洋画の歩み展」の準備を行う。
- ・児島家所蔵の虎次郎関係資料（手紙やスケッチ）を調査研究し記念室への展示準備を進める。

②彫刻家 児島矩一の調査と研究

児島虎次郎の甥であり夭折した矩一の作品調査と研究。展覧会開催を検討する。

4. 教育普及 企画展覧会の関連イベントや所蔵品展示を活かした学校教育との連携事業、展示解説リーフレットの製作やウェブを通じたコンテンツ発信を実施し芸術文化等への興味を育み理解を促す。

①鴨居玲展

記念講演会 4月8日（土） 11時30分～12時30分

講師：長谷川徳七氏（日動画廊社長）

ギャラリートーク

・4月23日（日）講師：当館学芸員

・5月21日（日）講師：当館学芸員

・6月18日（日）講師：当館学芸員

②ベルギーと日本展

トークリレー

7月8日（土）「太田君と児島君と武石君（仮題）」

講師：目黒区美術館 学芸員 山田真規子氏

新潟県立近代美術館 学芸員 伊澤朋美氏

当館学芸員

記念講演会

7月中旬 「児島虎次郎の張子額について（仮題）」

講師：大原秀行氏（絵画修復家）

ワークショップ

8月中旬 「心の光を表現しよう（仮題）」

講師：関野智子氏（画家・光風会会員）

③タグチアート展

対話型鑑賞会

日時は学校（成羽小学校、成羽中学校）と調整

記念対談

10月1日（日） 13時30分～15時

テーマ「現代美術の味わい方」 場所：多目的展示室

講師：田口美和氏、塩原将志氏

ミュージアム・コンサート（開館記念日コンサート）

11月3日（金・祝日） 14時開演

場所：たいこまるプラザ 伊藤記念ホール（予定）

演奏者：検討中

④福島隆壽展

作家ギャラリートーク

2月上旬頃 「これまでの画業について（仮題）」

講師：福島隆壽氏、赤木里香子氏（岡山大学大学院教育学研究科教授）、関野智子氏（画家・光風会会員）

ワークショップ

3月上旬頃

⑤出前授業

- ・「なんで成羽でエジプトなん？」プロジェクト

古代エジプトコレクションをテーマとした出前授業を岡山県立大学、古代オリエント博物館の協力のもと実施。高梁市内小中高校全校での実施を目指して活動（本年度は3件目標）

- ・「世界に誇る成羽の植物化石」

高梁市内小中高校全校での実施を目指して活動（本年度は3件目標）

⑥館内ワークショップ

- ・化石関係ワークショップ …月1～2回

- ・おうち de ワークショップ

…化石等をテーマに自宅でできるワークショップの動画を製作し、ウェブで発信

- ・スクールツアー …ミニワークショップ付き化石見学ツアー（依頼ベース）

⑦化石展示リーフレットの刷新

福井県立恐竜博物館 湯川学芸員により、新たに成羽の化石種が整理され、種名リスト・時代が修正されたことに伴うリーフレットの刷新のための原稿作成（印刷は次年度）

⑧その他地域の学校教育との連携及び協力

高梁市内の小中学校、高校をはじめ吉備国際大学、倉敷芸術科学大学、岡山県立大学、岡山理科大学、岡山大学などとの連携を深めた事業を推進

- ・児島虎次郎学習への協力（主に社会科、総合学習、図画工作・美術）

- ・成羽化石の学習への協力（主に理科、総合学習）展示案内など

- ・グッズ開発に関する岡山県立大学デザイン学部との連携

- ・企画展覧会イベントの協力要請

⑨各展覧会における子供向け・一般向けリーフレットの製作

⑩当館ホームページに化石コラムを不定期に掲載

定款第4条第1項第3号事業

1. 情報収集、広報啓発活動

①美術館を支援していただく企業や団体を開拓し、児島虎次郎顕彰事業の推進と活発な広報活動を展開する

②機関紙「高梁市成羽美術館だより」の発行、関係機関への配布（年1回）

③ホームページ、Youtube、SNS（facebook、Twitter、Instagram、LINE）による情報発信

④全国美術館会議、美術館連絡協議会、岡山県博物館協議会など館外との情報交換の場への参加

2. グループ活動作品展（場所 多目的展示室）

①なりわい工芸品同好会作品展

令和5年6月7日（水）～6月18日（日）

②ブロッサム絵画展

令和5年10月25日（水）～11月5日（日）

- | | |
|------------------|------------------------|
| ③書道＋機織教室作品展 | 令和5年11月8日（水）～11月19日（日） |
| ④墨遊会作品展 | 令和5年11月22日（水）～12月3日（日） |
| ⑤吹屋ベンガラ焼「炎の会」作陶展 | 令和6年3月7日（木）～3月17日（日） |

定款第4条第1項第4号事業

1. 施設管理事業

- ①利用者にとって安全・安心で快適な環境を提供するために適切な管理保守委託をする。
- ②老朽化が進む設備の改修計画を立て、市と協議しながら実施する。
本年は高梁市実施事業として2階展示室床修繕、スポットライト更新（LED）を実施予定
※令和4年度実施予定だったLED照明整備、煙感知器更新工事、高圧ケーブル取替工事についても令和5年度に持ち越して実施予定
- ③支援組織「成羽美術館の環境を守る会」と力を合わせ、美しい環境を維持する。
- ④公益法人制度に則り、適正な運営をする。

定款第4条第1項第5号事業

1. ショップ・喫茶運営

- 展覧会や館自体の満足度をより高めるため、企画展関連商品や魅力ある商品を販売する。
また利用者に快適に過ごしてもらうため、喫茶を運営する。
- ・ショップのアイテムの見直しとオリジナルグッズの製作販売を推進する。
 - ・将来ショップ・喫茶のリニューアルを実施したい。